

平成22年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学者選抜試験

【2年短縮型】

法律科目試験問題：刑事法（配点：100点）

注意事項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は、全部で2ページである。
解答用紙は、全部で8ページである。
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 4 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。
- 6 机上に各自の「受験票」と「大学入試センター法科大学院適性試験受験票」を出しておくこと。
- 7 解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。

第1問 (刑法)

甲は、普通貨物自動車（軽四輪）を運転し、最高速度が時速 30 キロメートルに指定されている道路を時速 65 キロメートルで走行していた。甲は、対向してきた車両に気づいてうろたえ、あわててハンドルを左に切ったが、道路左側のガードレールに衝突しそうになったので、とっさに今度は右にハンドルを切った。すると、運転の自由がきかなくなつて甲の自動車は暴走し、道路左側前方にあった物に左側後部が激突した。甲の自動車の後部荷台には、赤の他人である乙が秘かに乗り込んでおり、この激突で乙が重傷を負った。

次の各場合において甲の行為に過失の罪が成立するか。過失犯の構造と関連づけながら論じなさい。

(1) 甲の自動車が激突したのが信号柱であつて

(a) 甲の自動車に乗っていたのが甲と乙のみであつた場合

(b) 甲と乙のほか、丙も甲の自動車の助手席に乗っていたが、丙は無傷ですんだ場合

(2) 甲の自動車が激突したのが路上にとまっていた普通乗用自動車の後部であつて、同車の座席には誰も乗車していなかったものの、トランクに丁が監禁されていて、激突で、乙の負傷に加えて丁が死亡した場合。甲の自動車には、甲と乙のみが乗車していたものとする。

(配点：60点)

(刑事法)

第2問 (刑事訴訟法)

以下の事例を読んで、設問に答えなさい。

【事例】

キャバレーを経営するAは、タイ国の女性 14 名をホステスとして雇い入れ、その無断欠勤や遅刻を禁止しただけでなく、出勤後は無断外出を禁止するなどして、上記キャバレーに集合、待機させ、上記キャバレーがありAが所有するビルの1階、4階および5階の個室において不特定多数の男客を相手に対償を得て性交させた。そのために、Aは、タイ国の女性 14 名を自己の管理する場所に居住させ、これに売春させることを業としたという売春防止法違反の事実で逮捕、勾留された。

タイ国の女性 14 名は、検察官による取調べとその供述調書(検察官面前調書)の作成が終わった当日ないしその1週間後の間に、出入国管理及び難民認定法に基づく退去強制手続によって、タイ国バンコクへ向け出国した。なお、タイ国女性はいずれも、検察官による供述録取の当時、タイ国への退去強制がすでに決定していた。

タイ国女性がバンコクに向け出国したのち、Aは上記売春防止法違反の事実で起訴された。

【設問】

タイ国女性を原供述者とする検察官面前調書の証拠能力について、論じなさい。

(配点：40点)